

キリスト教委員会のHP(<http://rakuno-ce.org>)にアクセスして事前に聖書や讃美歌の確認をしましょう。

【聖歌隊と一緒に歌いましょう】

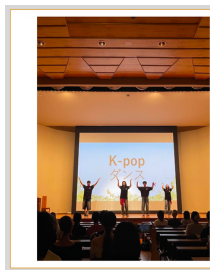
大学礼拝では学生・教職員の有志による聖歌隊が合唱をします。礼拝の前と後に練習しています。歌ってみたい学生はオルガン前にお越しください。前学期に聖歌隊に参加してくださったみなさん、どうもありがとうございました。



《2026年7月21日の聖歌隊のさんび》

【CCCによる特別プログラムの礼拝と茶話会の報告】(2026年7月14日)

韓国のCCCの学生と本学の学生と一緒に礼拝をし、茶話会で楽しい時間を過ごしました。茶話会には予想を超えた140名もの参加者がありました。どうもありがとうございます。次回は後学期の2027年1月に来学の予定です。素敵な文化交流・国際交流の機会です。覚えてご出席ください。



さんび



【次回の大学礼拝(後学期始業礼拝)】2026年9月29日(火)10時40分

聖書：ヨハネによる福音書6章44-47節

奨励：「イエスを信じる——三愛精神の源」小林昭博(宗教主任)

讃美歌：21-482番(わが主イエス)、酪農讃歌(黒土よ)

【前回の大学礼拝】2026年7月21日(火)

学生：72名 教職員：9名 合計：81名

【大学礼拝週報】2026年度 第15号(前学期第15号)

2026年7月28日(火)午前10時40分

酪農学園大学 黒澤記念講堂

前学期終業礼拝

司式 小林昭博(宗教主任・循環農学類教授)
奏楽 佐藤理恵(日本基督教団野幌教会オルガニスト)
讃美指導 相原晴伴(農環境情報学類長・教授)

前奏 イエスはわがよろこび(ワルター作曲)

讃美歌 第二編164番(勝利をのぞみ)

聖書 ヨハネによる福音書6章41-43節

さんび 酪農学園大学聖歌隊

奨励 「未来を切り拓く——可能性を閉ざさない」

祈り 小林昭博(宗教主任)

讃美歌 第一編312番(いつくしみ深き)

報告

後奏 心はずませ(パッヘルベル作曲)

【本日の聖書】ヨハネによる福音書6章41-43節(新共同訳)

41 ユダヤ人たちは、イエスが「わたしは天から降って来たパンである」と言われたので、イエスのことでつぶやき始め、42 こう言った。「これはヨセフの息子のイエスではないか。我々はその父も母も知っている。どうして今、『わたしは天から降って来た』などと言うのか。」43 イエスは答えて言われた。「つぶやき合うのはやめなさい。」

【奨励】「未来を切り拓く——可能性を閉ざさない」

イエスの活動の足枷はイエスを昔から知る人たちによる決めつけでした。こいつはヨセフの息子であり、特別でもなく、そんな奴の言うことは聞けないというつぶやきがイエスに向けられました。誰かに限界を設け、可能性を閉ざすやっかみです。しかし、イエスは神に与えられた道を信じ、神に支えられて可能性を閉ざさずに未来を切り拓いたのです。イエスの姿は黒澤西蔵と酪農学園の歩みとも重なります。黒澤先生はイエスの歩みに倣ったのです。同様に酪農学園大学もイエスに倣い、学生のみなさんが可能性を閉ざさずに未来を切り拓いていくための学び舎でありたいのです。